

# 令和5年第19回定例公安委員会会議録

開催日時 令和5年7月20日（木）午前11時08分～午後2時45分

開催場所 警察本部

## 第1 定例会議

1 開催時間 午後1時30分～午後2時5分

2 出席者

公安委員会 久本委員長 衣笠委員 勝部委員

警察本部 半田警察本部長 雲田警務部長 山本首席監察官  
笠田生活安全部長 加藤刑事部長 前田交通部長  
岡山警備部長 植木警察学校長 坂口情報通信部長  
足羽警務部参事官

（事務局等～畔田公安委員会補佐室長、前田室長補佐）

3 議題事項

4 報告事項

- 警察本部長に対する苦情の受理状況（令和5年4月～6月中）（警務部）
- 鳥取県警察の財務に関する内部統制制度の評価結果（警務部）
- 懲戒処分等の状況及び随時監察の実施結果（令和5年度第1四半期）（警務部）
- 運転者管理システムの警察共通基盤への移行（交通部）
- 8月中の入校及び訓練概況等（警察学校）

（1）警察本部長に対する苦情の受理状況（令和5年4月～6月中）（警務部）

### 警察本部

本年4月から6月までの苦情の受理件数は、生活安全部門の1件であった。対応状況を調査した結果、指摘事実があった。

今後も県民の期待に応える活動の推進に努めていく。

#### 委員

4月から6月までの間の苦情受理が1件であり、非常に少ないと思う。これもしっかりとした教養を含め、努力していただいている結果だと有り難く思っている。

しかし、この1件に関しては、誤解を招くことがあるため、私見は言わない方がよいということで、しっかりと対応してほしい。

#### 委員

苦情については、引き続き、組織でしっかりと対応していただきたい。

警察官の方の言動は県民等に重く受け止められることから、誤解等がないよう、対応はできるだけ複数人で行うのがよいと思う。

#### 委員

同じ言葉を掛けても、県民の受け止めは、様々である。

苦情に対して、しっかりと丁寧に対応していただいていると思う。

### (2) 鳥取県警察の財務に関する内部統制制度の評価結果（警務部）

#### 警察本部

県警察では、令和2年9月から「鳥取県警察の財務に関する内部統制制度」を導入している。内部統制とは、業務遂行上のリスクを低減することを目的とするプロセスである。このほど、令和4年度の評価結果を取りまとめた。

令和4年度の運用状況を、全庁的な内部統制と業務レベルの内部統制に分けて評価した結果、全庁的評価、業務レベルの評価のいずれにおいても、「不備」や「重大な不備」と認められるものはなかった。

業務レベルの評価では、会計監査や自己点検で不適切な事務が確認されたが、発見時に修正等の対応がされており、再発防止策が講じられていた。

なお、不適切な事務に関し、今後他の所属でも発生する可能性がある重要な事案については未然防止のための情報共有が手配されていたが、比較的軽微な事案でも業務上のリスクの低減に向けて積極的に情報共有を図るよう意見を付している。

不備の是正に関する事項についても「不備」や「重大な不備」と認められるものはなかった。

不適切な事務をゼロにすることは困難ではあるが、今後も、不適切な事務が発生した場合には、それを隠ぺいすることなく報告し、改善策を講じていくこと、またその環境づくりが重要となると考える。引き続き内部統制制度を推進し、意識を定着させ、必要に応じて適宜制度の見直しを行っていく。

#### 委員

警察は、いろいろな角度から自らの業務について検討をされる組織だと改めて感じた。県民から信頼される組織であるために、この内部統制制度が重要なチェック制度であることを確認させていただいた。重大な不備が認められなかったことは良かったと思うが、軽微な不適切事務があったということなので、これに関しては、他の所属と情報を共有して未然防止を図っていただきたい。いつもお伝えしているが、軽微なことをしっかりと重く受け止めて再発防止に努めていただきたい。

#### 委員

内部統制がしっかり図られていると感じた。いろいろなリスクがあると思うが、慣れを防止し、意識を定着させることは大事である。内部統制が形骸化することのないよう、今後もしっかりと取り組んでほしい。

#### 委員

何度も多くの目で点検して監査をされている結果、不適切な事案が未然に防止されているのだと思う。特に財務に関して、不備、不正が発覚するというのは信頼失墜につながる。県民の信頼のためにも、しっかりと業務に当たっていただきたい。

### (3) 懲戒処分等の状況及び随時監察の実施結果（令和5年度第1四半期）（警務部）

#### 警察本部

警察本部から、令和5年度第1四半期の懲戒処分等の状況及び随時監察の実施結果について報告があった。

#### 委員

第1四半期の監察結果ということで、懲戒処分がないというのは、非常に良かった。これも日頃からしっかりとした教養を行っている皆様の努力の結果だと思う。不適切な事案があると、今はすぐにSNSで拡散するが、それを見ると、県民は本当に残念に思う。県民の信頼のためにも、しっかりと監察をお願いする。

#### 委員

風通しのよい職場づくりを大事にしていきたい。いろいろなことが起こっても、それをしっかりと報告できるような環境づくりをお願いする。

#### 委員

県警察は、しっかりと業務に当たっていただき、感謝申し上げます。県民に直接接する警察官の方は、ストレスも多いと思うが、警察官としての自覚、緊

張感を持って、引き続き頑張っていたきたい。

#### (4) 運転者管理システムの警察共通基盤への移行（交通部）

##### 警察本部

運転者管理システムとは、運転免許証の発行等、高齢者講習等の講習管理、免許の不適合事由の登録や通報等を行っているシステムである。今回の移行は、警察庁と都道府県警察が個別に整備してきたシステムを集約して、警察庁において共通基盤の構築やシステム整備を推進し、必要な機能を都道府県警察に提供するために行われるものである。

移行スケジュールは、令和4年度から3か年計画で予定されている。昨年度は岡山県警察などの4府県で実施され、本県警察は今年の12月以降の実施を予定している。県警察では、速やかに移行できるように今年の4月に運転免許課と情報管理課の職員からなるプロジェクトチームを設置し、運用面と技術面での連携を図りながら、現場で作業を進めているところである。

システムの移行に伴い、運転免許証作成装置等の機器を整備することとしている。主なものとして、各免許センターに自動受付機を各3台、免許証の記載事項の変更を行う免許センター、警察署、幹部派出所に追記端末を各1台ずつ設置することとしている。また、既存の運転者管理システムのデータを警察共通基盤システムへ移行する必要があるが、その業務は委託することとしている。

現行業務との相違点として、運転免許証の更新又は記載事項変更を行う際、これまでは、申請者が申請書を作成していたが、移行後は、窓口を設置する自動受付機に免許証を挿入すると自動で申請書の作成、受付となる。また、全国警察が統一的なシステムとなることから、申請様式等の各種帳票は、警察庁様式に変更する。

移行に向け、指定自動車学校等の関係機関に対する事前説明を実施するとともに、令和6年度末をめどに、運転免許証とマイナンバーカードとの一体化及び更新時講習のオンライン化を予定している。

新システムへの移行を踏まえ、免許行政の更なる利便性の向上に努めていく。

##### 委員

先ほど運転免許証作成装置等の機器を見せていただいたが、申請の迅速化、事務の合理化、正確性が上がるということで、大変素晴らしいシステムであると思う。高齢者の方など、新たな機器を使用する際に戸惑われる方がいると思うので、丁寧な説明や対応をお願いします。

更新時講習のオンライン化というのは、県民にとっては有り難いことだと思うので、これはしっかり進めていただきたい。また、人為的なミスが起こらないよう、チェックをしながら進めていただきたい。

#### 委員

免許更新がデジタル化して、大変便利になると思うが、応接などのソフト面もしっかりとお願いしたい。システムの移行が円滑に進むよう、しっかりとシミュレーションしながら、進めていただきたい。

#### 委員

運転免許管理システムが警察庁に設置されている警察共通基盤システムに一本化されるということで、大変良いことだと思う。

更新時講習のオンライン化で、自宅で講習が受けられるようになれば、利便性が向上すると思う。

### (5) 8月中の入校及び訓練概況等（警察学校）

#### 警察本部

8月中の採用時教養は初任科2課程、専科は救急法指導者等の2課程である。

8月中の行事・訓練関係は、8月7日と8日に、初任科第97期の卒業試験、初任科第98期の中間試験を行う。そのほか、鳥取地方気象台次長による災害講習のほか、交通事故防止研修会、航空隊見学、日本漢字能力検定の受検などを予定している。

7月中の行事・訓練等関係について、初任科生は、第97期生が制服実務研修に臨み、第98期生が救急法講習を受講したほか、手話講習、運転訓練、県警察柔道剣道大会に参加する。初任補修科生には、7月10日、11日に卒業試験、7月12日にOBマイスター教養を行った。7月27日が卒業式である。

#### 委員

鳥取県は、障がい者に優しいまちづくりを進めているが、警察学校で手話講習をしておられるのは素晴らしいと思う。この手話講習で、どのくらいのレベルを目指しているのか。

#### 警察本部

挨拶などの日常会話はできるように目指している。

#### 委員

様々な行事・訓練が予定されているが、熱中症対策、コロナ対策をしながら実施していただきたい。

#### 委員

いろいろな分野の講義があったり、試験や検定があると思うが、1つ1つクリアしながら、頑張ってください。

交通事故防止研修会は、どのような研修なのか。

#### 警察本部

保険会社の方に来ていただき、交通事故発生時の状況や必要となる手続について学ぶほか、サポートカーに実車して性能の確認や運転適性検査を行う。

#### 委員

現場に出たときに、必要な知識の1つだと思う。

引き続き、現場でしっかり対応できる警察官を育てていただきたい。

#### 委員

多岐にわたる訓練を受けられており、幅広い知識の習得に努めておられると思う。

学生には、新聞やニュースなどもしっかり見て情報を得ていただきたいと思うが、警察学校の寮生活では、新聞を読んだり、テレビのニュースを見たりする機会はあるのか。

#### 警察本部

寮生活中は、スマートフォンは持たせていないので、情報を得られるよう、新聞を購読させている。

#### 委員

学生には、新聞やニュースなどで情報を得てほしいと思う。視聴したニュースや新聞記事について学生が討論できるような時間があればよいと思う。

#### 警察本部

朝のホームルームの際に、そのような時間を設けるときがある。

## 第2 その他の公安委員会活動

### 1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取3件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

### 2 聴聞

運転免許課から、道路交通法に基づく聴聞1件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

### 3 事前説明

- ・ 鳥取県警察の財務に関する内部統制制度の評価結果
- ・ 運転者管理システムの警察共通基盤への移行

### 4 報告事項

- ・ 中国四国管区内公安委員会連絡会議関係
- ・ オンライン接見の実現を求める鳥取県弁護士会会長声明
- ・ 公用車事故の発生状況

### 5 公安委員会委員間の事前検討・協議等

### 6 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。